

平成30年度

事業報告書

平成30年 4月 1日から

平成31年 3月31日まで

公益社団法人 全国食肉学校

# 事業報告

## I. 事業概要

### 1. 重点実施事項

#### (1) 教育訓練事業

- ①平成 30 年度の卒業生数は 55 名で、コース別の内訳は、総合養成科 29 名（1 年コース 18 名、前期コース 11 名）、食肉販売科 26 名でした。
- ②時代のニーズに沿って「ジビエの利用」の講座を新設し、「食肉業界と HACCP」「家畜伝染病と輸入食肉検査」等の講座を継続強化しました。
- ③学生各々の習得状況に応じた個別指導、課外授業等を実施し、資格取得に向けた指導を継続強化しました。
- ④食肉加工品製造実習、調理、ミートデリカ、惣菜等の消費者接近授業を充実させ、提案力強化を図りました。
- ⑤学生との日常的なコミュニケーションを図り、役職員、講師、寮監との情報共有化に努めました。
- ⑥学生派遣企業への早期推進を行うとともに、新規派遣企業を獲得しました。また、派遣企業へ厚生労働省の人材開発支援助成金の活用を継続して推進提案しました。
- ⑦後継者ではない学生の就職指導により、会員企業へ 3 名が就職しました。

#### (2) 教育研修事業

- ①FMA セミナー（本校主催研修会）は、広報活動を強化しましたが、総定員数 320 名に対して 216 名の受講生数で、受講率は 67.5%（計画 80%、前年度 63.0%）でした。  
このうち、農林水産省と連携したジビエセミナーは 2 回とも好評で、次年度以降も継続実施することとなりました。
- ②企業提携研修は 47 法人 80 回開催しました（前年度 45 法人 84 回）。兵庫県肉連、首都圏・神奈川・東海食肉卸売業者協同組合、ポリテクセンター群馬、(株)カタセイ、タイソンインターナショナル、オール日本スーパーマーケット協会、(公財)日本国際協力財団、フランス畜産・食肉委員会、日本畜産振興(株)、(株)コワダヤ、日本家政学会等、幅広く新規顧客を獲得しました。
- ③和食文化と日本式食肉処理・加工技術の普及のための海外セミナーについては、JA 全農ミートフーズ(株)に出向中の講師を含めて 12 カ国 14 回実施しました。豪州、UAE 等は初めての実施でした。  
(公社)中央畜産会及び JA 全農インターナショナル(株)と連携し、和牛輸出

先国の招聘研修会を6回実施し、欧米、オセアニア、中東、アジア等世界21カ国から約110名の有名レストランのシェフ等に和牛の魅力を伝えました。

- ④消費者向けセミナーについては、玉村町住民活動サポートセンターと連携した「1129の日セミナー」を継続実施しました。
- ⑤厚生労働省の若年技能者人材支援等事業（ものづくりマイスター制度）は6年目となり、群馬県職業能力開発協会の協力を得て、群馬県内の7つの高校の授業の一環として、豚枝肉からハムソーセージ作りを計9回実施し、2年生を中心に約200名が参加しました。加えて、「めざせマイスタープロジェクト」として、地元小学校への出前授業を実施しました。
- ⑥JA全農と連携して、全国の農業高校生たちが参加する第2回和牛甲子園へ審査員を派遣し、賞状・副賞の提供をしました。
- ⑦第11回全日本大学対抗ミートジャッジング競技会の「食肉産業セミナー」分科会に出席し、食肉業界志望の学生たちとの意見交換を通じて、食肉業界への理解を深めてもらいました。
- ⑧食育セミナーについては、玉村町住民活動サポートセンターと連携して「夏休み食育料理体験」を企画し、地元小中学生とその保護者に大好評でした。

### （3）通信教育事業

通信教育3コースについては、大手食肉量販店からの受講が一巡したこともあり、3コース合わせて受講者数は216名（昨年度317名）と、定員（300名）を下回りました。

### （4）資格認証事業

- ①食肉処理製造技術（部分肉）資格の豚部分肉製造マイスターの取得者は18名（受験者25名、合格率72.0%）これまでの累計で175名、牛部分肉製造マイスターの取得者は9名（受験者12名、合格率75.0%）累計で71名となりました。
- ②豚部分肉製造1級は総合養成科学生が多く受検し11名、2級は1名、それぞれ合格しました。
- ③食肉販売技術管理士資格については、学生17名、外部4名が合格しました。
- ④7回目となるお肉検定については畜産系大学にも広告する等営業範囲を拡大し、受験者は過去最高の2,481名（昨年度1,819名）となりました。食肉関連企業のみならず、一般消費者の受検も増えてきました。お肉博士1級取得者は1,028名（累計4,574名）、お肉博士2級取得者は488名（累計2,266名）となりました。
- ⑤外国人技能評価試験については、「牛豚部分肉製造作業（初級）」で535名（昨年度395名）、新たに専門級も始まり159名が合格しました。また、

牛豚精肉製造作業の試験実施機関としても認定申請準備中です。

- ⑥5 回目となる食品衛生管理者登録講習会については、34 名が受講し、全員修了証を取得することができました。これまでの累計修了者数は 218 名となりました。

(5) 食肉製品製造販売事業の取り組み

- ①㈱群馬県食肉卸売市場の「肉の駅」3 店舗、J A 佐波伊勢崎直営「ファーマーズマーケットからかーぜ」2 店舗へのベーコンの販売は順調でした。新規販売先としてレストラン「イロドリ」に納入を開始しました。
- ②玉村町産業祭に昨年に引き続き出店し、ベーコンサンド 600 食を提供したところ、大好評のうちに完売しました。

(6) 教育指導力・組織運営力の強化

- ①ハム・ソーセージ・ベーコン製造技能検定 1 級に専任講師 1 名が合格し、有資格者数は 7 名となりました。
- ②専任講師 3 名が食品表示検定初級、1 名が中級に合格しました。
- ③総務部職員 1 名が公益法人会計検定試験 3 級に合格しました。
- ④外国人技能実習制度試験受検者の大幅増加に伴い、職員 1 名と新システム担当パート 1 名（半日勤務）を採用しました。
- ⑤J A 全農ミートフーズ㈱へ出向させていた専任講師を 3 月 31 日に帰任させ、教務部の体制を強化しました。

## 2. 学校運営

(1) 品質管理システム導入の取り組み

ハム・ソーセージ・ベーコンについて、1 月 30 日 S Q F 認証を取得し、H A C C P に基づく管理を実施しています。

(2) 経営基盤の確立

収支相償に向けて授業料等を値上げしました。

(3) 入会預り金の適正管理

満期保有目的化した債券についてはこれを維持し、低金利下において比較的高い運用益を得ることができました。

(4) 公益法人会計の適正適用

公益会計の 3 基準である、収支相償、公益目的事業比率、遊休財産額の保有制限について、適正処理により遵守しました。

(5) 学習・生活環境の改善

①実習室

真空定量充填機、自動計量包装値付機、バーコードラベルプリンター導入

②S Q F 対応

防虫ブラシ・カーテン設置、冷蔵庫温度自動計測システム導入

③食堂厨房

排気用送風機更新

(6) 情報発信力の強化

①ホームページのトピックス・ブログ・フェイスブックを適時更新しました。

②J Aグループ、群馬県、玉村町との連携及び事業範囲の拡大による本校の知名度向上により、メディアへの露出機会が増加しました。

共同通信（日経新聞他地方紙 3 紙）、毎日新聞、日本農業新聞、上毛新聞、ぐるなび、日本テレビ「遠くへ行きたい」、広島テレビ、群馬テレビ他

(7) 同窓会活動

地区別同窓会を実施しました。

(8) その他

地域貢献の一環として、学生の実習済み原料肉のこども食堂への食材提供を開始しました。

### 3. 単年度収支

(1) 平成 30 年度の経営は、経常収益は 269,298 千円、経常費用が 269,250 千円となり、評価損益等調整前当期経常増減額は 47 千円と、前年、計画共に上回りました（計画△4,239 千円、前年度△1,838 千円）。

(2) 平成 30 年度の正味財産期末残高は 286,853 千円となりました。

(3) 公益認定法第 5 条第 8 号および第 15 条に規定される公益法人としての基本的な要件である公益目的事業比率は、87.7%となり、基準の 50%を上回りました。

## II. 関係資料

### 1. 教育訓練事業

#### (1) 入学・卒業期日

科	入学期日	卒業期日
総合養成科 1年コース	4月 6日	3月 1日
総合養成科 前期コース	4月 6日	9月 28日
食 肉 販 売 科	4月 6日	6月 29日

#### (2) 入学・卒業・修了生数

(単位:名)

区分	科	総合養成科		食肉販売科	合 計	
		1年コース	前期コース			
本 年 度	入 学 身	入 学 生 数	16	13	26	55
		会 員 ・ 同 出 資 企 業	0	3	18	21
		食 肉 関 連 企 業	1	2	8	11
		食肉専門店等後継者	14	8	0	22
		一 般	0	0	0	0
		海 外	1	0	0	1
	コ ー ス 変 更 ・ 退 学	2	△2	0	0	
	卒 業 生 数	18	11	26	55	
累 計 卒 業 生 数		1,750	75	552	2,487	

- (注) 1. 累計の合計は、開校以来の合計数である（食肉加工科 110名を含む）。  
 2. 累計には修了生は含まない（1年:11名、前期:37名、計 48名）。  
 3. 会員・同出資企業とは、会員及び会員が出資している企業（子会社等）

## (3) 修学時間数

(単位:時間)

科	区分	学 科		実 技				計
		前期	後期	前期 (校内)	後期		計	
					(校内)	(校外)		
総合養成科	30年度	339.5	134.5	507.0	170.0	568.0	738.0	1719.0
	29年度	340.5	136.5	520.0	168.0	560.0	728.0	1725.0
前期コース	30年度	339.5		550.0		550.0		889.5
	29年度	340.5		563.0		563.0		903.5
食肉販売科	30年度	201.5		283.5	(51.0)	28.5		485.0
	29年度	200.0		285.0	(51.0)	285.0		485.0

(注) 1. 食肉販売科の校外実習 ( ) は選択制である。

## 2. 教育研修事業

## (1) FMAセミナー

日程		講座名	定員	参加者	
基礎	1	6/5	食肉加工品の基礎知識半日セミナー	15	6
	2	6/5	食肉の基礎知識半日セミナー	15	12
	3	6/6	食肉の原価計算基礎から応用セミナー	20	12
	4	8/22~24	食肉基礎セミナーⅠ(牛肉編)	30	32
	5	8/27~29	食肉基礎セミナーⅡ(豚肉編)	30	22
	6	9/3~5	食肉基礎セミナーⅢ(加工品編)	20	13
	7	10/3~4	食肉基礎セミナーⅣ(内臓肉編)	20	26
	8	10/22~23	食肉基礎セミナーⅤ(国産と輸入の比較)	20	14
	9	10/24~26	食肉基礎セミナーⅥ(販売の為の調理提案)	15	3
公開 授業	1	5/4~19	豚部分肉加工技術者研修	5	5
	2	9/10~13	牛部分肉加工技術者研修	5	6
応用	1	7/24~27	ジビエ基礎セミナー①	20	13
		11/27~30	ジビエ基礎セミナー②	20	12
	2	2/5~8	食肉加工品ステップアップセミナー	20	7
技能 検定	1	10/16	ハム・ソーセージ・ベーコン製造技能検定受験準備研修会【2級】	20	8
	2	10/17	ハム・ソーセージ・ベーコン製造技能検定受験準備研修会【1級】	20	9
資格	1	1/16~25	食肉販売技術管理士技能講習会(公開講座)	5	4
宿泊	1	3/11~15	食肉業界入門(新人社員)研修	20	12
計				320	216

(2) 企業提携研修

月	法人名
4	カナダポークインターナショナル(2回)
5	㈱JA 食肉かごしま、㈱吉田ハム、JA 全農ミートフーズ㈱
6	(公社)日本食肉格付協会、新田暁高等学校、愛知経済連、カナダビーフ国際機構、フランス食品振興会
7	JA 全農ミートフーズ㈱、カナダポークインターナショナル、JA 全農いしかわ、農水白河、タインソン・インターナショナル、群馬ポリテクセンター(G・M フーズ)、総合食品エスイー㈱、(一社)たまむら住民活動支援センター
8	群馬県職能協会(太田市内小学校)、群馬ポリテクセンター(G・M フーズ)、JETRO、(独)日本貿易振興機構、JA 全農いしかわ、日本家政学会、㈱いわちく、兵庫県食肉卸事業協同組合、佐世保食肉センター㈱
9	㈱JA 食肉かごしま、日本畜産振興㈱、JA 全農インターナショナル㈱、日本畜産物輸出促進協議会、日本養豚大学校
10	首都圏卸売業者協同組合、兵庫県食肉卸事業協同組合、㈱カタセイ、日本畜産物輸出促進協議会、九州管内系統食肉センター協議会、㈱吉田ハム、JA 全農ミートフーズ㈱、大泉高校、JA 全農いしかわ、伊勢崎興陽高等学校
11	日本畜産物輸出促進協議会(2回)、オール日本スーパーマーケット協会、日本メイプルリーフフーズ㈱、伊勢崎興陽高等学校、安中総合学園高等学校、㈱JA 食肉かごしま、㈱吉田ハム、大泉高校、愛知経済連
12	静岡県畜産共進会、㈱ベイスシア、勢多農林高等学校、あがつま中央高校、(独)農畜産業振興機構、藤岡北高校
1	JA 全農インターナショナル㈱、全国食肉センター協議会、東海食肉業務用卸協同組合、吉田ハム㈱、JA 全農ミートフーズ㈱、兵庫県食肉卸事業協同組合
2	㈱ミヤチク、神奈川県食肉業務用卸協同組合、日本畜産振興㈱、首都圏卸売業者協同組合、全国食肉センター協議会、JA 全農インターナショナル㈱、㈱JA 食肉かごしま、日本畜産物輸出促進協議会
3	㈱JTB、㈱ミヤチク、兵庫県食肉卸事業協同組合、九州管内系統食肉センター協議会、兼松㈱、㈱吉田ハム(2回)
合計	実施企業数 47 法人      実施回数 80 回



### 3. 通信教育事業

#### (1) コース別受講生

(単位：名、%)

コース名		定員	受講者	修了者	修了率
食肉流通業務実践コース	30年度	200	145	138	95.2
	29年度		176	156	88.6
食肉の原価計数管理コース	30年度	100	38	34	89.5
	29年度		83	70	84.3
食肉関連法規コース	30年度	100	33	28	84.8
	29年度		58	52	89.7
計	30年度	400	216	200	92.6
	29年度		317	278	87.7

### 4. 資格認証事業

#### (1) 食肉販売技術管理士認定試験

(単位：名、%)

	受検者	合格者	合格率
学生	18	17	94.4
外部	4	4	100.0
計	22	21	95.5

(2) 豚部分肉製造マイスター認定試験

(単位：名、%)

受検者	合格者	合格率
25	18	72.0

(3) 牛部分肉製造マイスター認定試験

(単位：名、%)

受検者	合格者	合格率
12	9	75.0

(4) 豚部分肉製造1級・2級認定試験

(単位：名、%)

受験級	受検者	合格者	合格率
1級	13	11	84.6
2級	1	1	100.0

(5) 外国人技能実習評価試験（牛豚部分肉製造作業）

(単位：名、%)

	受験者	合格者	合格率
初級	535	535	100.0
専門級	165	159	96.4

(6) 食品衛生管理者登録講習会

(単位：名、%)

受講者	修了者	修了率
34	34	100.0

5. お肉検定

(単位：名、%)

受検級	応募者	受検者	合格者	合格率
1級	1,918	1,818	1,028	56.5
2級	717	663	488	73.6
計	2,635	2,481	1,516	61.1

(単位：名)

お肉検定講習会	受講者
	1,582

(札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・福岡・群馬)

## 6. 学生の表彰

### (1) 学校長賞

賞	総合養成科	総合養成科 前期コース	食肉販売科
優秀賞	高木 勇介 知念 辰徳 黒川 金志朗	青山 凛太郎 河原 拓也 前野 恭吾	二口 友祐 高坂 敬三 後藤 直人
優良賞	馬場 典之 奥 山 萌	向谷 昌記	坂元 稔侑 鷺山 研人
技能賞	齊藤 大地	山谷 宗大	満尾 友大
努力賞	蔡 定亨 杉山 龍太郎 戸田 雄也 吉岡 秀也	山田 将也	安井 健一郎 茂木 淳宏 名須川 圭祐 池田 健人 岡田 聖司

### (2) 褒賞

褒賞名	総合養成科	総合養成科 前期コース	食肉販売科
農林水産省生産局長賞	高木 勇介	青山 凛太郎	二口 友祐
群馬県知事賞	知念 辰徳	河原 拓也	高坂 敬三
(独)農畜産業振興機構理事長賞	黒川 金志朗	前野 恭吾	後藤 直人
群馬県職業能力開発協会会長賞	馬場 典之 奥 山 萌	向谷 昌記	坂元 稔侑 鷺山 研人

### Ⅲ. 主な報告事項

#### 1. 会員の異動

	期首	入会	脱退	期末
会員	23	0	0	23

#### 2. 役員の異動

区分	期首	辞任	就任	期末
常勤理事	1	1	2	2
非常勤理事	9	2	2	9
監事	1	0	1	2
計	11	3	5	13

##### (1) 就任

###### 専務理事

重松 幸正 (学識経験者) 平成 30 年 6 月 12 日

###### 常務理事

小原 和仁 (学識経験者) 平成 30 年 6 月 12 日

###### 理事

尾崎 太郎 (農林中央金庫食農法人営業本部営業第二部部长) 平成 30 年 6 月 12 日

木村 敬 (東京食肉市場株式会社代表取締役専務) 平成 30 年 9 月 28 日

###### 監事

高橋 龍彦 (全国農業協同組合連合会畜産総合対策部次長) 平成 30 年 6 月 12 日

##### (2) 辞任

###### 専務理事

徳永 克弘 (学識経験者) 平成 30 年 6 月 12 日

理事

狩谷 哲夫 (前東京食肉市場株式会社代表取締役専務) 平成 30 年 9 月 28 日

山下 武彦 (前全国農業協同組合連合会畜産総合対策部長) 平成 31 年 3 月 31 日

3. 学校運営委員会委員の異動

	期首	辞任	就任	期末
運営委員	6	1	1	6

(1) 就任

高橋 龍彦 (全国農業協同組合連合会畜産総合対策部次長) 平成 30 年 4 月 1 日

(2) 辞任

須藤 邦彦 (前全国農業協同組合連合会群馬県本部県本部長) 平成 31 年 3 月 31 日

4. 職員の異動

区分	増減 性別	期首			増			減			期末		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
総務部		4	2	6	1	1	2	2	0	2	3	3	6
教務部		10	0	10	0	0	0	0	0	0	10	0	10
計		14	2	16	1	1	2	2	0	2	13	3	16

(1) 採用

山口 美香 平成 30 年 6 月 18 日

内田 佑 平成 30 年 11 月 1 日

(2) 退職

小原 和仁 平成 30 年 6 月 12 日

(3) 帰任

石井 清栄 平成 31 年 3 月 31 日

## 5. 主要業務・行事等

月	日	事 項
4	1 6 27	平成31年度学生募集開始 総合養成科第54期生・食肉販売科第29期生入学式 平成29年度事業監査(業務・会計)
5	1 15	平成30年度通信教育講座開講(実践・原価・法規・3コース) 第1回理事会(第1回定時総会上程議案の付議他)
6	1 12 24 29	平成31年度入学者願書受付開始 第1回定時総会(平成29年度事業報告他) 第2回理事会(専務理事、常務理事互選) 食肉販売科卒業記念感謝祭 食肉販売科第29期生卒業式
7	27	第1・四半期監事監査
9	7 23 28	第3回理事会(第1回臨時総会上程議案の付議他) 総合養成科前期コース卒業記念感謝祭 総合養成科前期コース卒業式 第1回臨時総会(理事補欠選任)
10	30	第2・四半期監事監査
11	11 20 28	第7回お肉検定 第4回理事会(上半期執行状況報告) 創立記念日(創立45年)
1	28 31	食品衛生管理者登録講習会(1/28～3/1) 第3・四半期監事監査
2	1 3～8 24	技能照査試験 オーストラリア食肉研修 卒業記念感謝祭
3	1 12 19	総合養成科第54期生卒業式 学校運営委員会 第5回理事会(2019年度事業計画書・予算他)